

非公式貿易交渉委員会の結果概要

- 1 日時：平成18年6月28日（水）10時～11時15分
- 2 場所：WTO本部
- 3 我が国からの出席者：吉村国際部長、大杉国際貿易機関室長、藤崎寿府代大使、近藤国際貿易・経済担当大使、香川寿府代公使ほか

4 概要

(1) ラミーWTO事務局長冒頭発言

- ・ 交渉はシングル・アンダーテイキングではあるが、他の交渉分野の進展を図るためにも農業、NAMA のモダリティ確立が急務。また、モダリティ確立をもって農業、NAMA の交渉が終わるわけではない。
- ・ 分野横断的にバランスを見た議論が必要な段階に来ている。進め方については、各国と相談したが、野心の水準（柔軟性を含む）は他の課題より先に解決されるべきとの考えであり、このような鍵となる課題を閣僚が議論すべきと考えて、第1段階、第2段階で議論すべき項目を整理（口頭で別紙のとおり発言）。
- ・ このリストは重要度でなく議論の順番を示したものに過ぎず、すべての課題が取り組まれるべきことは当然。
- ・ 会議の持ち方については、香港閣僚会議で行ったような少数国会合が有益であると考え、当面次の日程を組んでいるが、必要に応じ、7月1日（土）、2日（日）を含め、追加の会議があり得るので、各国ともオンコールでいてほしい。

6月30日（金） 9：00～ 少数国会合

11：00～ 非公式TNC（HODs）

7月 1日（土） 公式TNC

(2) 各国からの発言

- ・ ベナン（アフリカ・グループ代表）、台湾、ホンジュラス、キューバ、チリ、ドミニカ共和国、ベネズエラ、チュニジア、ボリビア、ペルー、コロンビアから、小規模経済への配慮、交渉における参加と透明性の確保の重要性等について発言。
- ・ 主要国ではEUのみが発言し、EU閣僚は項目リストがどうであろうとGIについて発言するだろうとコメント。

第1ラウンド

農業

市場アクセス

- 関税削減のための階層方式
- 重要品目
- 特別品目 (S P)
- 途上国向け特別セーフガード (S S M)

国内支持

- 貿易歪曲的国内支持の全体的削減
- 総合AMSの削減
- 青の政策の上限
- デミニミスの削減
- 品目別AMSの上限
- 青の政策のその他の規律
- 綿花

NAMA

- フォーミュラ・係数
- 非譲許品目の取扱い
- フォーミュラが適用される途上国に対する柔軟性

第2ラウンド

農業

輸出競争

市場アクセス

- 上限関税
- 特別セーフガード
- 熱帯産品
- 特惠浸食
- 新規加盟国
- LDC

国内支持

- 緑の政策

NAMA

- LDC
- 譲許率の低い途上国に対する柔軟性
- 小規模脆弱経済国
- 新規加盟国
- 特惠浸食
- 実施期間